

地方会議（山梨県南アルプス市）

1. 日時、場所

平成24年5月30日（水） 13時30分～15時30分
桃源文化会館 桃李の間

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 70名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	31
資金調達	1
経営指導・経営支援	10
技術力・人材（技能承継等）	6
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	0
若手・青年層の活力発揮	1
女性層の活力発揮	4
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	3
その他	6

（2）主な意見

【資金調達】

- ・決算書に表れない取り組みを、金融機関から融資を受ける際に担保として評価してくれる仕組みが欲しい。

【経営指導・経営支援】

- ・現在の政策は、「もらう」のは上手だが「使うのは下手」な事業者がもらえる政策になっている。政策的に投入したものが正しい目的に向かって、「活きた金」になっているかをチェックすることが重要。
- ・事業に必要不可欠な「ヒト・モノ・カネ」のうち、ヒト・モノの支援は必要としていない。地域をよくするために、儲からないかもしれない仕事を社会的価値のある仕事として落とし込んでいけるような、「カネ」の面での支援策を検討して欲しい。
- ・中小企業支援の情報が隅々の中小企業に行き届かない。どのように情報を伝

えて活用していくかを考え直すことが必要。

- ・ 物流会社はドライバーへの安全教育が重要だが、安全教育を浸透させるには10年はかかる。人材育成の成果が決算書に表れるまでの間の支援が欲しい。
- ・ 事業承継を行おうとした時、もう少し使い勝手の良い仕組みや、承継をするにあたって色々悩まなくてもいいような環境を整えて欲しい。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 良い経営者を育てると、従業員が育つ環境が整う。真の問題解決が出来る経営者を育てるために、経営者に勉強の場を提供することが重要。
- ・ 60歳の定年を超え、65歳まで再雇用している社員が最も技術があるが、中小企業に余剰人員はおらず、従業員教育に割く時間がないため、技能承継が進まない。世代交代の負荷に耐えられなければ、技能の承継も難しい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 経営の仕方を独学で身に付けると間違った方向に進むことがある。若い経営者が「経営」について勉強できる場の創設が必要。
- ・ ハローワークに工場要員とCADなどの設計事務で募集すると、CADにはばかり求人が集中し、工場には若者が来ない。若者は仕事観が変わり、モノ作りへの意欲が落ちている。モノ作りの素晴らしさを若者に伝える環境を整えて欲しい。
- ・ ハローワークでの企業紹介が資本金などの表面的な情報に限られているため、マッチング機能を低下させている。若い人達が企業に価値を見いだせるように改善して欲しい。

【女性層の活力発揮】

- ・ 女性は、結婚や出産で仕事を辞めても、育児が終われば社会復帰をしたいという欲求が強い。そうした女性のために、勉強する場を設けていただき、次の社会復帰に向けたステージを作って欲しい。
- ・ 保育園は満杯であり、核家族化が進んでいるので子供を見てくれる両親も近くにいない、仕事と家庭の両立に女性は悩んでいる。女性の就業促進には、保育園の問題、待機児童問題の克服が必要。

【その他】

- ・ 中小企業支援策もよいが、円高、ガソリン高、消費税引き上げなど、地域の中小企業に対する負担を除去してもらいたい。
- ・ 行政の縦割りから横割りへの転換など、行政の仕組みを作り直して欲しい。